

令和6年度 第3回名古屋市日中サービス支援型グループホーム運営評価会議
評価結果（令和6年10月18日開催）

（事前評価）

法人名称	ヴァンライズ有限会社
事業所名称	マイホーム土古
事業所所在地	名古屋市港区東土古町2丁目31
評価結果	<p>下記の内容に留意し、適切な事業運営を実施されたい。</p> <ul style="list-style-type: none">・入居までのプロセスにおける役割について、管理者、サービス管理責任者の役割を法人内で検討し、構築すること。 また、入居までのプロセスについては、利用者や家族がサービスの提供内容を理解し納得した上で利用できるよう、事前相談の問い合わせや説明方法、体験利用の活用、利用後のモニタリングの実施等、しっかりと入居前から入居後の支援の流れを作り、事業所として運用できるよう形として残すこと。・利用者の方には、生活する上での希望や苦情について伝えることが難しい方もいる。事業所内で利用者一人一人の声を適切に汲み取れるよう、苦情の受付の仕組みや記録の作成等、体制を早急に整えること。加えて、日常会話や普段の様子からも聞き取っていく姿勢を大切にすること。・日中サービス支援型グループホームにおける利用者の日中の生活について、どのようなプログラムを設定し、どう運営するのか事業所としての理解が不十分であることが見受けられるため、他のホームの取組状況等も見学するなど、事業所としての指針を持つこと。・現在運営しているグループホームを含め、人材確保等をはじめ、安定した事業運営が行われサービスの質が低下しないよう、利用者を中心に据えて着実な事業運営をすること。・日中サービス支援型グループホームは、高齢や重度の方を対象とするなど、支援の専門性がより求められるサービスである。障害者の特性を理解した支援が展開できるよう、障害特性、障害者支援に関する研修を実施するなど職員の質の向上を図るように努めること。・事業所での支援の課題の共有や地域の社会資源との顔の見える関係性を構築するため、また、地域に開かれたグループホームとするため、積極的に自立支援連絡協議会に関わること。・事業所都合で医療機関を変更することなく、入居前からのか

	<p>かりつけ医への通院を継続する他、いざという時に周辺の医療機関を受診することができるよう、地域で利用者が安心できる医療連携体制の構築に努めること。</p> <ul style="list-style-type: none">• 成年後見制度、日常生活自立支援制度の活用について、日頃のケース会議を通じて、職員間で検討する場を設けること。検討する場は事業所内だけではなく、名古屋市成年後見あんしんセンター等の社会資源も活用し、申し立てが必要な場合における事業所としての役割についても考えること。• 事業運営に対する熱意が感じられる一方、人権についての意識が希薄であると感じられる。グループホームは不適切支援や虐待が起りやすい環境であることを認識するとともに、事業所全体で障害者権利条約について熟読し、職場で研修等を実施する等、人権に関する理解を深めること。• 金銭管理上の問題や、虐待、プライバシーの侵害など、事故の発生を防ぐため、組織的及び事業所単位による体制整備の検討を行うこと。
--	---